

革命の旗

共産主義者同盟
(革命の旗)
中央機関紙

第16号
(1980-5-20)
定価 100円

(毎月5日・20日発行)

発行人 北沢 晋
発行所 赤流社
電話 (03)407-3511
東京都世田谷区千歳
郵便局 私書箱4号
振替 (東京)7-86947

年間定期購読料
開封2500円(送料共)
密封3000円()

5・23 狭山中央総決起集会
午後二時 日比谷野音

5・25 三里塚空港粉砕
現地総決起集会
正午 三里塚第一公園

6・22 日帝の戦争準備と対決する
労学集会へ総力・全力決起を!

ブルジョア議会「連合政権」の道を拒否し 日帝打倒ープロ独をめざす 革命的大衆行動へ

革命的大衆行動へ

すでに世界はソ連帝のアフガニスタン軍事侵略と、米帝の対イラン軍事侵略策動を二大頂点として第三次世界大戦の第一段階ともいえるべき決定的なつまみを迎えている。しかも、ユーゴスラビアのチトー大統領の死去に伴うソ連米西欧諸帝の暗闘の激化は、再びバルカン半島を世界の火薬庫へと押し込めようとする。このように、ソ連帝の覇権争闘の激化の中で、六月、ベネチア・サミットが諸帝主義列強によって用意され、日帝をいっそう米帝との緊密な同盟関係を作りだすことによる、帝国主義的市場争奪戦への参画へとめりこまされているのだ。それは一方でソ連帝によるむきだしに覇権争奪戦の中から、それに対抗して生みだされた非同盟諸帝の国際的連帯や、反ソ米の国際人民闘争とのいっそう鋭い対立を生みださずにはおかないだろう。アフガニスタンにおける反ソ暴動の続発、イラン人民の反米民族民主革命の前進、そして戒厳令解除・維新前線・民主統一を掲げて闘いぬく韓国の労働者・学生不屈の闘いなど、被抑圧民族の反帝反植民権闘争の激化は、このことを如実に示している。他方、米帝は五月十六日、大平内閣不信任案が衆議院本会議で可決され、一挙に政府危機へと突入している。かかる事態への発展は、マスコミや野党のいう「自民党内紛」にその原因があるのではない。この内紛を生起させざるを得なかった被抑圧民族の闘いの前進であり、労働者階級・被搾取階級の大衆のブルジョア政治に対する反抗・不満の増大にある。このように戦後五五年体制の崩壊局面に突入し、「支配階級もこれまでどおりにはやっつけられない」とをあらわにしたのである。

「連合政権」ブルジョア階級独裁の延命を暴露せよ

かかる事態の急速なつまみは、何よりも労働者階級をして、その階級を離れ、帝国主義戦争に抗する革命的階級闘争の、決定的推進力たるべきことを要求している。戦争の連帯は、一挙に政府危機へと突入している。かかる事態への発展は、マスコミや野党のいう「自民党内紛」にその原因があるのではない。この内紛を生起させざるを得なかった被抑圧民族の闘いの前進であり、労働者階級・被搾取階級の大衆のブルジョア政治に対する反抗・不満の増大にある。このように戦後五五年体制の崩壊局面に突入し、「支配階級もこれまでどおりにはやっつけられない」とをあらわにしたのである。

韓国民族民主革命の真明鏡 日米帝の反革命介入を許すな!



5月15日維新体制打倒へ闘う十万人の韓国学生

「戒厳令解除」「全斗煥退陣」等を掲げた韓国学生数万人の首都ソウル連日決起は、いまや六〇年四月一九日蜂起、六五年日韓条約反対闘争の最高潮を示し、崔圭夏政権を最大の政治危機に追いこんでいる。この間の学生は街頭デモはソウルだけでなく韓国南部の大邱で全州でも数千から一万におよび警察との激しい攻防をくりひろげている。「五月十四日を期限として戒厳令を解除せよ」と要求して決起した学生は、五月十五日には首都ソウルで十万人の大集会とデモを敢行し、朴正基体制維新残存勢力に対する独裁体制の徹底し

を大きな結核点としていっそう推進され、またエセ毛派において公然たる社会愛国主義の主張を掲げた日帝への投降が開始されている。また一方では、ソ連帝超大国の世界的規模での覇権争闘戦の渦中で、ソ連帝の忠実な下僕として立ちふるまい、そのようにして労働者の進路を歪曲せんとする勢力が台頭している。まさに五月六月闘争を、日帝の戦争準備に対決し、革命的祖國敗北主義の見地から、戦争を内乱と自

現在、政治警察は小西同志度殺命の時代、その中で日本社会主義革命を戦取する確固不拔の前衛党へと、わが党をおしあげ鍛えあげたための不可欠の闘争としてうけて断し、更にはブルジョア階級の下地作りを開始している。しかも政治警察に、原則的に対応する「捜査非協力者」に対しては、アパルトの前でさき回り、職場におしやるなどの卑劣な嫌がらせを行っている。かかる政治警察との対峙の中で、最高潮は、六九年赤軍派の大菩薩軍事訓練に対する爆殺、殺人予備、凶準な「罪名」をもつてわが党の指導的同志の八木、大越両同志に対し上告棄却し長期投獄攻撃をかけたこと。更に六月二日には、すでに十年におよぶ不当な未決長期拘留の中で非転向を貫き闘いぬいてきた高原同志に対するハイジャック「共同謀殺止犯テッテ」による判決公判において投獄攻撃がせまれている。まさにかかる多方面からのわが党への弾圧攻撃こそは、わが党が結党以来、着実に革命党建設をおし進め、そして日本共産主義運動の混迷を突き破って八〇年代階級闘争の最前線に躍り出ようとしていることへの、敵階級の憎悪と恐怖の現われ以外の何ものでもないのである。この共通闘争(革命の旗)結党以来、最大の試練の現局面にあって、わが党は、この試

を激化する八〇年代「戦争と革命」の時代、その中で日本社会主義革命を戦取する確固不拔の前衛党へと、わが党をおしあげ鍛えあげたための不可欠の闘争としてうけて断し、更にはブルジョア階級の下地作りを開始している。しかも政治警察に、原則的に対応する「捜査非協力者」に対しては、アパルトの前でさき回り、職場におしやるなどの卑劣な嫌がらせを行っている。かかる政治警察との対峙の中で、最高潮は、六九年赤軍派の大菩薩軍事訓練に対する爆殺、殺人予備、凶準な「罪名」をもつてわが党の指導的同志の八木、大越両同志に対し上告棄却し長期投獄攻撃をかけたこと。更に六月二日には、すでに十年におよぶ不当な未決長期拘留の中で非転向を貫き闘いぬいてきた高原同志に対するハイジャック「共同謀殺止犯テッテ」による判決公判において投獄攻撃がせまれている。まさにかかる多方面からのわが党への弾圧攻撃こそは、わが党が結党以来、着実に革命党建設をおし進め、そして日本共産主義運動の混迷を突き破って八〇年代階級闘争の最前線に躍り出ようとしていることへの、敵階級の憎悪と恐怖の現われ以外の何ものでもないのである。この共通闘争(革命の旗)結党以来、最大の試練の現局面にあって、わが党は、この試

「労働統一」反対の闘争と結びつ、れを社会に代表される労働者大衆の声をとして利用し、日帝の軍事大国化へと、帝国主義戦争準備へと拍車をかけている。すべての労働者・農民・学生諸君! この策動をのみがしてはならない。われわれの社会生活の全領域にかけられている戦争準備一歩一歩の攻撃を許してはならない。わが党は五月六月闘争をあらゆる合法的手段を駆使して反戦・反安保の大行動を組織し、ブルジョア階級への一大総反政を準備するものとして闘うことを訴える。「連合政権」への道を、一歩はやめた。六月三日、日米安保条約の「自動延長」をすでに決定している日本ブルジョア支配階級は、こ

か、その政治的本質が日帝の戦争準備に、協力・加担・推進する祖國擁護主義にあることは、もはや明白である。彼らは今日の戦争の接近、日帝の戦争準備に、安保条約・護憲、平和擁護のブルジョア主義を対置し、その無力性・反動性をあらわにしている。従って我々は、いまこそ日帝の戦争準備に対する労働者階級・人民の進路をさし示していかねばならない。それは何よりも今日の戦争準備の性格をしっかりと明らかにし、それがブルジョア階級独裁の維持をめざした帝国主義戦争にあること。それ故に一切の戦争準備に反対し、革命的祖國敗北主義を貫かねばならない。そして、この闘いの旗の下に、帝国主義戦争に反対する一切の階級の大衆行動を推進し、革命の大衆行動へ高めさせたえあげていかねばならない。

6・22日帝の戦争準備と対決する労学集会
清水谷公園
日時 六月二十二日(日)午後二時
主催 6・22集会実行委
呼びかけ 全国労共闘 全国学共闘
六月反戦反安保労働者実行委
六月反戦反安保学生実行委
連絡先 〇三三五八二九八二 戦旗社
〇三三〇七三五一 赤流社

「労働統一」反対の闘争と結びつ、れを社会に代表される労働者大衆の声をとして利用し、日帝の軍事大国化へと、帝国主義戦争準備へと拍車をかけている。すべての労働者・農民・学生諸君! この策動をのみがしてはならない。われわれの社会生活の全領域にかけられている戦争準備一歩一歩の攻撃を許してはならない。わが党は五月六月闘争をあらゆる合法的手段を駆使して反戦・反安保の大行動を組織し、ブルジョア階級への一大総反政を準備するものとして闘うことを訴える。「連合政権」への道を、一歩はやめた。六月三日、日米安保条約の「自動延長」をすでに決定している日本ブルジョア支配階級は、こ

か、その政治の本質が日帝の戦争準備に、協力・加担・推進する祖國擁護主義にあることは、もはや明白である。彼らは今日の戦争の接近、日帝の戦争準備に、安保条約・護憲、平和擁護のブルジョア主義を対置し、その無力性・反動性をあらわにしている。従って我々は、いまこそ日帝の戦争準備に対する労働者階級・人民の進路をさし示していかねばならない。それは何よりも今日の戦争準備の性格をしっかりと明らかにし、それがブルジョア階級独裁の維持をめざした帝国主義戦争にあること。それ故に一切の戦争準備に反対し、革命的祖國敗北主義を貫かねばならない。そして、この闘いの旗の下に、帝国主義戦争に反対する一切の階級の大衆行動を推進し、革命の大衆行動へ高めさせたえあげていかねばならない。

反戦・反安保の革命的大衆行動を組織するために

6月共闘に対する同盟の態度

被抑圧民族と団結し、国際反戦闘争を組織する態度

わが同盟は、迫りくる帝国主義戦争に、労働者階級人民が革命的祖國敗北主義の態度を...

帝国主義と社会主義の分裂をおし進める思想

現在の危機のうちに最も深刻な点は、こうしたブルジョア民族主義・排外主義が、わが国の共産主義の公認の代表者としてのさばり...

六〇年安保闘争・樺美智子虐殺二一周年集会への御賛同のおねがい

今年、六〇年の反安保闘争のまっただなかで、樺美智子が敵権力の暴虐によって虐殺されて二一年目をむかえます。

集会要項

- 一、名称 「六〇年安保闘争・樺美智子虐殺二一周年集会」
一、主催 六月の会
一、日時 六月十四日(土)二時より
一、会場 牛込公会堂ホール
一、内容 ①記念講演
②各氏、各団体の発言など
③樺美智子の母屋あいきつ
(整理券は赤流社でも取りあつかいます)

革命的な反戦闘争は社会主義革命の準備だ

われわれは、今春期とりわけ六月反戦・反安保闘争を組織するために、この間あらゆる角度・領域から革命的な反戦闘争の性格・方向・目的について明らかにしてきた。

5・14 県連集會に二千人

5・23へ前進する神奈川の部落解放運動

五月十四日、川崎市産業文化会館において部落解放同盟神奈川県連の主催による「人権・部落差別を考ふる県民大講演集会」が二千をはるかに上回る大結集によって...



検町公園に結集した200余の労学

ソ連・ベトナム弾劾ノカンボジア人民支援茨城集会

全県をゆるがす闘いへ

四・一七ノソ連解放五周年を迎えたカンボジアでは、ベトナム侵略軍とヘン・サムリンの基礎が提起された。集会基調では、ベトナムのカンボジア侵略を弾劾し、民主カンボジア政府・人民の抗越救国闘争を支持すると共に、ベトナムの後押しを続けるソ連のアフガニスタン侵略を弾劾し、ソ連・ベトナム人民を支援する茨城集会。

フレームアップを許さず! 誹謗・中傷を弾劾する

【真相を糾明する会】

わが同盟の四・七宣言は、捜査当局の事情聴取を拒否する故小西同志の友人や神奈川県下の先進的労働者に勇気と確信を与え、いやがらせに断固として対決する...

14・15 沖縄闘争

両日の闘いは、韓国民衆の激闘に連帯が、日・沖人民の戦闘的団結を一層うらめ、沖縄の自立解放をめざす革命的な反戦闘争の力強い橋頭堡となった。(詳細次号)

革命的な反戦闘争と 労働者階級の任務

意図する帝国主義戦争を前にして、今こそ労働者階級はすべての労働人民の先頭で革命的な反戦闘争の旗を掲げて立ち上がり、またその闘いの決定的な推進力とならねばならない。

それは労働者階級こそが、この迫りくる帝国主義戦争にまさしく強盗どもの獲物のぶんどり合戦に對して真に首尾一貫して反戦闘争の旗を掲げ、その階級的性格を明らかにし、無情な強盗どもを根絶し、その階級をたたくことのできる唯一の階級であるからに他ならない。

だがしかし、このような労働者階級はたすき役には、今日まで戦争の真の姿を、その階級的性格を明らかにすることができていない。

1 帝国主義戦争は奴隷主たちの 三重の奴隷制強化をめざす闘争

今日の帝国主義戦争の接近という情勢の特徴は、何よりも帝国主義階級自身によってつくりだされたものである。個々の民族国家のせいとばかりをこめて成長した社会の生産力と資本の規模は他民族を抑え、奴隷化し、原料生産地および資本輸出地としての植民地を略奪しようとする諸大國の志向をうみだした。それは資本主義の崩壊をおくることができなくなるような特権と独占をめざす資本家どもの戦争、すなわち「奴隷制を維持し強化する」ための、他民族を「抑圧」する権利のための、さまざまな國の労働者を分裂させ彼らを反動的に弾圧することによって資金奴隷制を永久化するための奴隷所有者たちの戦争(「メタルバド」左派の決議草案)を、不可避にうみだすのである。

だから「両交戦グループのどちらの側からいっても「祖国擁護」をうんぬんするのは人民に對するブルジョア階級の欺瞞である」(同一ことは明らかである)。

2 右翼的「労戦統一」は、戦争推行 ・賃金奴隷制強化を果す

労働者階級が祖国擁護や反愛國主義の欺瞞と闘い断固として革命的祖國取北主義の見地に立ち、労働者を分裂させ彼らを反動的に弾圧することによって資金奴隷制を永久化するための奴隷所有者たちの戦争(「メタルバド」左派の決議草案)を、不可避にうみだすのである。

だから「両交戦グループのどちらの側からいっても「祖国擁護」をうんぬんするのは人民に對するブルジョア階級の欺瞞である」(同一ことは明らかである)。

右翼的「労戦統一」の本質

それは何よりも今日進行する右翼的「労戦統一」なる労働組合運動の帝国主義的再編成によりも雄弁に物語っているところのものである。

この右翼的「労戦統一」こそは日帝の命を自ら承継する道と推し進めようとするものであり、労働者階級の帝国主義的再編成をい進めているのである。

人民の憤激を 革命的行動へ

だが、帝国主義戦争が労働者階級にもたらすものは、その貧困と弱さ、物価騰貴や反動、災厄ばかりではない。それは一方階級

日帝は現下の政治的、経済的危機の克服を軍事的飛躍的強化、独自の核保有を全面におし、航空宇宙、電子工業中心の産業構造への転換をおし進めている。

すなわち、構造不況業種の「過剰設備の廃棄」を一方で推進しつつ、このような「知識集約型産業」への転換を進めようというのである。つまりこれらことは今日、日帝が一層悪化する命のために経済的軍事化を推進していることである。それはそうすることによってしか日帝が現状打破の方途をみだせないでいること証左でもあるのだ。

だから、今日先進的労働者がしつかりと把握しなければならないことは、今日進行する右翼的「労戦統一」が狙いとすることのものである。それが明確に国際人民闘争と連帯して、帝国主義戦争における自國政府の敗北を願い、それを組織し、帝国主義的国内平和をうち破り公然たる内乱へ転換すること、そうすることによって一直接にプロレタリア革命へとつなぐこと、これ以外にはない。

益を労働者階級の利益として位置づけ、そのために國家の政策決定に参画しようとするものであり、日帝の命と帝国主義戦争へのなだれをうける傾向の中に積極的に参加しようとするものにほかならない。

だから、このような日帝の政策決定への「参加」をめざす右翼的「労戦統一」が今日の社会主義闘争に示される政治的再編成を通じて、相互にこれを促進しあっていることとは、今日進行する右翼的「労戦統一」が狙いとすることのものである。それが明確に国際人民闘争と連帯して、帝国主義戦争における自國政府の敗北を願い、それを組織し、帝国主義的国内平和をうち破り公然たる内乱へ転換すること、そうすることによって一直接にプロレタリア革命へとつなぐこと、これ以外にはない。

まさに今日こそ労働者階級は、かかる本来の歴史的使命をたすべく立ちあがらなければならない。そのためには現在労働組合を牛耳っているひとりの労働者階級を指導するのいすからひきおろし、労働組合を真正に労働者階級の手に奪い返さなければならない。

いかにいっても、今日の戦闘的労働者階級の「労戦統一」に反対し、労働運動の戦闘的再生をめざす闘いを賃金と労働条件をめぐる闘いに回復にとどめることなく、まさにこのような労働者階級の任務と結びつけて、そのような方向にむけて闘わなければならない。

しかも、すでに明らかにしたように社会主義的右翼的「労戦統一」が帝国主義的國家政策レベルへの参加をめざすものであり、労働者階級の帝国主義戦争への動員をわらうものである以上、労働者階級の闘いがこれと真向から対決するために、労働者階級の闘いを賃金と労働条件をめぐる闘いに限定し、その戦闘性を競う戦闘的経済主義の偏向とつきり手をきり、日帝の戦争準備を全面的に暴露し、それへの革命的な回答をこそ示さなければならない。すなわち「戦闘的闘争を戦闘的に闘

3 社会主義と労働運動の結合の環 革命的な反戦闘争の創出を

うことが右翼的「労戦統一」と闘うことだ」とすることは、事態の一面の正しさをいっているにすぎないのである。これらの闘いがそのこととまるとなれば、それは現下の日帝の戦争準備と有効に對決できないばかりか、革命一致の国民総動員の前に各個撃破され、早晩、労働者階級を敗北に導くことにならざるを得ない。

したがって、行政機構にたすきわる公務員労働者に対しては、「ヤミ給与」「カラ出張」批判の国民世論をあおりたて、その労働者性を否定し、官公労働運動を解体させ「住民奉仕」の名のもとに行政機構の再編成と効率化を進めようとしている。つまり帝国主義戦争への国民総動員と監視体制の一翼としての自治行政の「効率化」と強化が計られているのだ。

社会主義革命の準備を

こうしたいところから憤出する労働者階級の闘いを戦闘的経済主義の指導に委ねることなく革命的な反戦闘争の水路へと導き、いれことこそ今日、決定的に重大な意義をもつものである。まさに現在の先進的労働者による労働組合の指導権をめぐる闘いもこのよう内容をもつて、ここに結びつけて闘いぬかねばならないのである。

事実、日本の労働者階級はすでに帝国主義戦争に對して英雄的な闘いぬいた輝かしい歴史をもっている。労働者階級はいつ、いかなる所においても帝国主義戦争に抗して闘いぬく力をもっているのだ。

挙国一致攻撃 をつき破れ

そして労働運動における階級矛盾はいつそう激化しており、その非和解性が広範な労働者階級の前にさらけ出されている。労働者階級の頭上にはいつそうの強権的強労働者がおいかぶさり、今春闘の七割という低賃上げなどは一瞬のうちに物価騰貴によって相殺されてしまっている。更には民事執行法、労基法改悪に示されるよ

革命的な反戦闘争を構築する ために

革命的な反戦闘争を構築する

天皇制・基地強化に抗し、
第二次砂川闘争勝利へ

五月十一日、砂川闘争五周年闘争が砂川反対同盟の第三次砂川闘争の決意のもと闘いとられた。

昨年末、政府の米軍立川基地処分案の正式決定以降、立川をめぐる攻撃はきわめて激しくふきあれている。まず第一には、昭和記念公園着工という日帝の元号法制度化にひきつづく天皇制・天皇制イデオロギー攻撃の頂点ともいえるべき攻撃であり、第二は、千二百メートル新滑走路建設によるC-1ジェット輸送機飛来を要として、自衛隊立川基地を米軍横田基地と結びつけ、米軍一自衛隊の軍事的再編強化をなしとげようとする攻撃である。また同時に、立川基地に隣接した軍産立川飛行機の格納庫の復活

東峰だより

東峰団結小屋 ☎〇四七六(三三)〇五〇五

4月13日 木の根部落の花見、三里塚第一公園で。
4月14日 東峰部落で花見、同盟、支援多数参加。
4月15日 春闘スト前夜の労働者大集結集会に、労働本部三百人が参加。しかし労働者階級の反響の前に自らの反動的立場を露呈。十六日のストライキで燃料輸送列車完全ストップ。
4月19日 東京地裁裁判事八部、花見裁判長は、三・二六闘争時に収録されたビデオテープの証拠調べを強行。マスコミ各社反対同盟の抗議を無視したこの暴挙に怒りが集中。
4月21日 東京地裁裁判事六部、小野幹男裁判長、三・二六闘争九被告に懲役二年(求刑二年六月)二被告に懲役二年執行猶予五年(求刑通り)の判決。
4月22日 東京地裁裁判事十部、石田恒良裁判長、三・二六闘争六被告全員に懲役二年六月(求刑四年)の実刑判決。
4月28日 山武農協千代田事業所において、新運営委員の初運営委員会、十三名が出席して全員で転換反対を決議した。
4月29日 部落解放同盟千葉県連主催の交流会開催。反対同盟も多数出席し連帯を誓いあった。
5月2日 「成田用水の幹線全長四キロ」が、着工以来九年ぶりにほぼ完成。一日から一部地域で通水開始。
5月3日 東峰部落で田植はじまる。
5月8日 進められてきた「公用地貸しつけ」事業が具体化される。まず朝倉、岩山の二地区を貸しつけ対象者に貸しだす。「千葉日報」が報道。事業の窓口は東峰部落の北部にある農業相談センター。
5月11日 東山薫君脱獄三周年集会。

にも注目しなければならぬ。こうした中でかちとられた五・十一闘争の意義は大きい。新滑走路建設をめぐり周辺住民の反対運動がさまざまな形をとりながら活性化し米軍立川基地の返還攻撃に對して一貫して対決しつづけてきた立川闘争実行委の闘いがいつその発展を獲得せんとする今日、反軍・反基地闘争の東の拠点たる立川闘争に注目し、労働者階級の革命的な反戦闘争と結びつけることが要求されている。

このように散在しているのだ。この間の「減量経営」たる暴力的大合理化攻撃によってひきおこされた多くの争議団の闘い、「行政改革」なる合理化とめつけの強化に抗する官公労働者の闘い、そしてまたいつそう劣悪な労働条件のもとで、それがやごと労働組合という原初的な闘いの武器を手にしたというものであったとしても、力強く立ちあがる下層未組織労働者の闘いが存在している。とりわけこの全労働者階級の七割を占める未組織労働者の組織化をめぐる帝国主義労働運動とのせめぎあいは今後いつそう激しいものになるであろう。今日の右翼的「労戦統一」が未組織労働者を排除するものではない。彼らは社会主義と労働者階級をめぐるとの陣営にひきこまうとしているのだ。この点では日共統一労働組合も同様でありその人民の議院主義なる小ブル層への迎合と「國家財政の民主化」なる底ぬけの改良主義が日帝への屈服の道ではないのは明らかだ。

こうしたいところから憤出する労働者階級の闘いを戦闘的経済主義の指導に委ねることなく革命的な反戦闘争の水路へと導き、いれことこそ今日、決定的に重大な意義をもつものである。まさに現在の先進的労働者による労働組合の指導権をめぐる闘いもこのよう内容をもつて、ここに結びつけて闘いぬかねばならないのである。

事実、日本の労働者階級はすでに帝国主義戦争に對して英雄的な闘いぬいた輝かしい歴史をもっている。労働者階級はいつ、いかなる所においても帝国主義戦争に抗して闘いぬく力をもっているのだ。

単一のマルクス・レーニン主義党創建のための論戦

7

急進民主主義の破産から祖国擁護派へ接近するプロ革派を批判する(下)

日ソ帝国主義間矛盾を隠すプロ革派

我々は前回にわたって、プロレタリア革命の態度を...

ス・レーニン主義の革命党として最も核心的問題、すなわちこのソ連と日帝の戦争の性格...

反ソ愛国主義の本質 小ブル民族主義の吐露

プロ革派はいまも次のように露呈してみせてくれる。

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

社会主義革命と民族民主主義革命の折衷

それではなぜ彼らは、この帝国主義戦争という政治的性格を...

「三つの世界論」は社会主義中国の対外政策、国家間政策の総論...

急進民主主義の破産 民族防衛を強調するプロ革派

ところが、プロ革派にあつては、階級闘争の目的はソ連の侵略に...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

非同盟運動の指導者

チトーを追悼する



ユゴスラビア社会主義連邦共和国のチトー大統領兼共産主義者同盟議長が五月四日、八十七歳の波乱の人生に幕をおろした。...

十世紀の激動であり、革命と被抑圧民族解放の試練の時代であった。...

民族解放闘争の世界史的前進のなかで、一つの大なる足跡を刻みつけている。

「急進民主主義」を清算せよ

「急進民主主義」を清算せよ



八木健彦 大越輝雄

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...

「大ドイツ共和国」を提起している。レーニンはこうした帝国主義戦争をめぐって...